新興・再興感染症研究基盤創生事業（JGRID+）

第30回日本ワクチン学会・第67回日本臨床ウイルス学会合同学術集会　シンポジウム登壇

（寄稿）危機管理･運営局 企画調整部政策研究課 研究開発連携室 蒲東真州

9月26日から27日にかけて、新潟県の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて、「第30回日本ワクチン学会・第67回日本臨床ウイルス学会 合同学術集会」が開催されました。当機構のJGRID+はシンポジウム「AMED※新興・再興感染症研究基盤創生事業「海外拠点研究領域（JGRID+）」の活動紹介」に参加し、各海外拠点の関係者とともに、当機構の髙田淳子先生、大塚美耶子先生が活動報告を行いました。


髙田淳子先生


大塚美耶子先生

※ AMED：国立研究開発法人日本医療研究開発機構



シンポジウムに参加した海外研究拠点関係者の皆様

シンポジウムには、神戸大学（インドネシア拠点）の森康子氏、新潟大学（ミャンマー拠点）の田村務氏、大阪大学（タイ拠点）の山中敦史氏、長崎大学（ベトナム・ブラジル拠点）の天野むらさき氏、髙松由基氏、東北大学（フィリピン拠点）の佐山勇輔氏、東京大学（中国拠点）の山本瑞生氏、岡山大学（インド拠点）のMahadeb Lo氏、北海道大学（ザンビア拠点）の梶原将大氏、大阪公立大学（コンゴ民主共和国拠点）の加来奈津子氏、東京科学大学（ガーナ拠点）の田代楓氏が登壇し、それぞれの拠点における活動や研究成果について紹介しました。

さらに、シンポジウムの前後や休憩時間などを活用し、各拠点の関係者との意見交換を実施しました。海外拠点研究領域の運営や拠点間連携のさらなる強化に向けた要望や課題について幅広く意見を伺うことができ、特に12月に開催予定の拠点間会合に向けて、議題や検討事項を整理する上で有益な情報を得ることができました。

今回いただいたご意見やご提案は、今後の事業運営や拠点間会合の企画・実施に活かすとともに、JGRID+事業全体のさらなる発展につなげていく予定です。